

**第一地区****報 告**

## 報告

- 1、第2回地区役員会（8名参加）  
日 時：平成23年9月8日 19：00～20：30  
場 所：埼玉社会保険病院  
内 容：第1回勉強会について、発表者、司会の確認
- 2、第一地区ホームページについて  
ホームページを作成しました  
地区役員会にて了承を得た  
<http://saitamalchiku.jimdo.com/>

## 今後の予定

- 1、第1回地区勉強会  
日 時：平成23年10月14日（金） 18：45～  
場 所：コムナーレ浦和10階（浦和パルコ）第13集会室  
参加費：無料  
内 容：小児X線撮影 ～頭部から腹部～  
メーカー講演：GEヘルスケア・ジャパン株式会社  
CT 最新CT装置 ～逐次近似再構成と小児撮影～  
FPD 一般撮影とDual Energy ～小児撮影には～  
施設発表：さいたま市立病院、済生会川口総合病院  
川口市立医療センター、埼玉社会保険病院  
アンケート結果発表（第一地区会員施設へアンケートを実施しました）  
日放技よりのご案内 富田理事
- 2、浦和区健康まつり ～心と体の健康フェスタ～  
さいたま市市民活動及び協働の推進助成事業として浦和区保健センターとアシスト浦和21の協働で浦和区健康まつりが開催。  
  
日 時：平成23年11月20日（日）10～16時  
参加事業：「無料の超音波式骨密度測定、放射線検査の啓発・説明」
- 3、第2回勉強会&忘年会  
日 時：平成23年12月21日（水）18：45～  
場 所：コムナーレ浦和10階（浦和パルコ）第13集会室  
参加費：無料  
内 容：『RSNA速報』シーメンス、根本杏林堂

## 第二地区

平成23年度 埼玉放射線技師会 第2地区  
第3回勉強会のご案内

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、平成23年度第3回勉強会を下記の内容にて開催させて頂くことになりました。

ご多忙中とは存じますが、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

日程 平成24年2月2日(木曜日) 18:30～20:15

場所 所沢市保健センター 3F 会議室

参加費 500円

## 1.メーカー発表「造影剤とインジェクタ最新情報」 (18:30～20:00)

座長 伊藤寿哉(石心会狭山病院)

「ちょっとだけ！役立つ造影検査に関する話題 ～これって???～」

バイエル薬品(株)診断薬事業部 東京第二営業所 辰嶋成也

「利便性を追求するオムニパークシリンジ」

第一三共株式会社 三島隆史

「RSNA 2010参加報告」

コヴィディエンジャパン(株) 医薬品事業部 マーケティング 江口美由紀

「オイパロミンについて～DPCと造影剤のジェネリックシフト～」

富士製薬工業株式会社 マーケティング部 田口京子

「肝臓ダイナミックCTにおける造影剤至適投与方法」

エーザイ株式会社 画像診断領域室担当 石井晶一

「最新の造影法と、最新のインジェクターについて」

株式会社根本杏林堂 大田肇



休憩(5分間)



## 2.地区総会

(20:05～20:30)

司会進行 佐藤秋生(石心会狭山病院)



## 第三地区

## 第三地区会だより

第三地区理事 庭田 清隆

## (1) リレー・フォー・ライフ川越2011 参加報告

日 時 平成23年9月17日(土)13時 ~ 18日(日)13時

場 所 川越水上公園芝生広場

埼玉県川越市大字池辺880

参 加 35名(第三地区会員 26名を含む)

イベント ・ 乳がん検診説明会

埼玉県医科大学総合医療センター中央放射線部 石田 直之

・ 東北地方太平洋沖地震、福島原発スクリーニング報告会

埼玉県医科大学総合医療センター中央放射線部 小林 芳春

今年、リレー・フォー・ライフ川越へ埼玉県放射線技師会チームが参加され、第三地区からは協力参加として、イベント開催などのお手伝いをしました。

初秋とは言え、まだ夏の暑さが残るころ、35名の方が参加され、病院の中でしか会う機会のない、がん患者さんやご家族の方と接し、支援する気持ちの大切さ、支えるとは何かを感じることが出来たに違いありません。

来年、再来年と、支援の輪が広がり、より多くの方が参加されることを願います。



(2) 第三地区ボウリング大会開催報告

日時 平成23年10月27日(木) 19時～  
 場所 川越ボウリングセンター  
 〒350-0806 埼玉県川越市大字天沼新田3-1-8 049-231-3681



(3) 第25回 川越市健康まつり 医療画像展開催

日時 平成23年11月6日(日) 10時～14時  
 (オープニングイベント 9時40分～10時)  
 場所 川越市総合保健センター  
 埼玉県川越市小ヶ谷817-1



川越市マスコットキャラクター

ときも

(4) 第2回 第三地区 勉強会開催

日時 平成23年11月24日(木) 19時～  
 会場 埼玉医科大学国際医療センター C棟2階会議室  
 埼玉県日高市山根1397-1

内 容

- 福島第一原発事故のサーベイヤーの経験  
 埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部 伊勢谷 修 氏
- 当院における放射性医薬品の取り扱い～小児過剰投与を背景として～  
 埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部 核医学検査室 高橋 強悦 氏
- 当院における定位放射線治療について  
 埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部 放射線治療室 宮原 貴之 氏

(5) 第2回 役員会開催

日時 平成23年11月24日(木) 20時～  
 会場 埼玉医科大学国際医療センター C棟2階会議室  
 埼玉県日高市山根1397-1

(6) 予定

- 新年会(平成24年1月7日 予定)
- 第3回 第三地区 勉強会開催(平成24年3月22日 予定)
- 第3回 役員会開催(平成24年3月22日 予定)
- 平成23年度 第三地区 定期総会(平成24年3月22日 予定)

埼玉県放射線技師会 第三地区ホームページにて、随時ご案内中です。

<http://www.sart.jp/member2005/>

第三地区

## 第四地区

### 活動報告

第四地区 山田 伸司

#### 1. 第2回 地区役員会

開催日：平成23年8月19日

場 所：深谷赤十字病院 参加者：7名

#### 2. 第2回 地区勉強会

開催日：平成23年9月29日

場 所：さくらめいと

講演 『福島県サーベイヤーとしての体験談』

埼玉県済生会川口総合病院 土田 拓治 氏

『医療および原発に関連した被ばく相談の時に役立つ基礎知識』

東松山市立市民病院 工藤 安幸 氏

参加者：54名

上記のとおり第2回地区勉強会が行われました。福島原発のこともあり、多くの会員の方が参加してくださいました。土田様には当時の福島県の状態・活動内容などを講演いただき、多数の写真からも現地の置かれた状況や、活動の過酷さが伺えました。貴重な体験談をいただき、ありがとうございました。また、工藤様には被ばく相談時に役立つ知識としてベクレルとシーベルトの違いから、放射性物質と結び付きやすい臓器、がんのリスクまで幅広い内容となっており、大変勉強させていただきました。さらに工藤様におかれましては、当日の午後、公益の活動として秩父市健康推進員連絡会秩父支部研修会にて、橋本副会長とお二人で講演を行った後に第四地区勉強会と、2つの講演を行うタフさと市民の方にもわかりやすい講演内容・お話に大変感動いたしました。本当にお疲れ様でした。(詳細については次号、公益委員会から市民の方からのご意見などを投稿して頂く予定です)

#### 3. 第3回 地区役員会

開催日：平成23年9月29日

場 所：さくらめいと (勉強会后)

参加者：8名



<第2回 勉強会風景>

## 平成23年度 会長講演および病院見学会 開催報告

第四地区 清水 ゆかり

開催日：平成23年9月2日（金）

会 場：花仁会 秩父病院・ホルモン高砂

初秋の候、小川会長講演および第四地区病院見学会が開催されました。

折しも当日は大型台風12号が四国へ接近し、開催地である秩父でも道端の標識が風に煽られる程の大荒れの天候でありましたが、そのような天候を打ち消すかのように盛大に行われました。

始めに講師の小川会長が、診療放射線技師や技師会のあり方、そして今後の展望についての講演をしてくださいました。放射線技師が携わる手技の範囲は施設間でも異なるといった報告を伺い、それらの現状を包括して今後を考え、より良い業務・組織とするべく活動を行っている技師会に改めて感銘を受けると共に、自身も技師2年目、未だ技師として未熟な点ばかりですが日々精進していかなければと改めて考えさせられました。

次に本年移転された秩父病院の見学を行いました。秩父地域の救急医療を担うヘリポートやバリアフリー設計、フロアの床材に至るまで、患者さんへの配慮が全面に感じられる施設でした。また、放射線科の装置を拝見した際には当院では使用していないメーカーや機種についての説明も伺うことができ、大変勉強になりました。そして見学会終了後の懇親会においても、食を交えながら楽しく大勢の方々と知り合うことができました。

最後に御講演くださいました小川会長、並びに施設内を見学させていただきました秩父病院の皆様、心より感謝申し上げます。



<ホルモン高砂にて>

施設紹介

医療法人 花仁会 秩父病院

放射線技術課 吉田真一

医療法人 花仁会 秩父病院

開設 : 明治 20 年 (平成 23 年 3 月移転)

所在地 : 埼玉県秩父市和泉町 20 番

電話 : 0494-22-3022

秩父病院分院 (旧秩父病院)

医療法人 花仁会 ははそ もり 柞の杜クリニック

開設 : 平成 23 年 6 月

所在地 : 埼玉県秩父市宮側町 16-12

電話 : 0494-21-2352



当院は平成 23 年 3 月、秩父市内より現在の地に新築移転致しました。

山々に囲まれた荒川のほとり、心癒される静かな環境にあります。

高度医療機関との連携のため、民間病院としては県内初のヘリポートを併設しております。

外来、病棟は木造平屋建築となっており、病院らしくない病院です。

診療科目

外科・内科・消化器外科・肛門外科・循環器内科・麻酔科・放射線科・肝臓内科・腫瘍内科  
整形外科・形成外科・歯科

救急告示病院

2次救急病院

輪番制救急病院

健康保険労災保険指定病院

結核予防指定病院

生活保護法指定病院



許可病床数

52 床 (全一般病床)

## 秩父病院理念

## 人と人とのふれあい医療

急性期医療と予防医療をふたつの柱とし、医療連携とチーム医療を実践することにより、常に医療の質の向上に努め、

1. 信頼される病院
  2. やりがいを持てる病院
  3. 地域医療に貢献できる病院
- を目指します。

## ご挨拶

秩父病院院長 花輪峰夫

埼玉県放射線技師会の皆様には、日頃より大変お世話になりありがとうございます。心より御礼申し上げます。

さて、このたび技師会雑誌に当院をご紹介頂けるとのこと、ありがとうございます。せっかくですので院長として新築移転に至る経緯や理由、私なりの新病院に託す願いなど、簡単にお話しさせていただきます。

当院は自治体病院が開設以前より、地域の中核救急病院として秩父地域医療に貢献してきたと自負しています。私が秩父の医療に関わったのは、医学部を卒業した直後からであります。卒後すぐに外科の医局に入局し、大学より外勤のアルバイトとして父の経営するこの秩父病院に週1回来て、外来と救急当番医を担当していましたので、約40年間秩父の医療に関わってきたこととなります。この間私は一貫して自院を進化させるべく努力してきたと思っています。できるだけ多くの患者、疾患に対処できるようになることを目標にしてきました。この結果、当院はどうか消化器疾患に対しては癌を含めて、ほぼ大学病院に遜色ないレベルに來たと感じています。

しかしながらご承知のように、当院を含めて秩父地域全体としての医療を見ると、特に心疾患、脳疾患、呼吸器疾患に関しては際立った進歩はありません。一方で医療は日々進化して行きます。秩父地域は地理的、物理的、あるいは地域社会文化的にやや特殊な環境を有しています。従って願わくば、いわゆる『地域完結型医療』がなされることが理想であります。つまり、地域の医療機関が連携し、全体で一つの総合病院の機能を持ち、可能な限り地域内で対処できることが望ましい姿であると考えます。そのためには地域医療の中核となる医療機関が必要であることは言うまでもありません。さらにその上で対処不能症例については、高次機能を持つ圏外の後方医療機関と綿密な連携を構築し、円滑な紹介転院、救急医療に於いては、救急車やヘリコプターによる迅速な転院搬送が不可欠であります。秩父に住むが故に、高度な医療を受けられないとあっては、地域医療を担う医師として痛恨の極みであります。管外医療機関との連携も、中核病院としての重要な条件であります。

上記の考え方を基本として当院は、秩父地域の急性期医療の中核的機能を果たすべく、物理的により広く、より充実したスタッフを確保し、病院機能をさらに充実させるため、病院の移転新築を計画しました。私は、この計画は一個人病院の問題ではなく、秩父地域医療にとって絶対に必要なものと思っています。また、医師不足が叫ばれる中、病院の存続のためには、若い医師にとって魅力ある病院、医師を始めスタッフを集めることのできる病院を創る以外にはないと考えたからであります。

個人的には、最後の地域医療の貢献と考えています。



## 秩父病院放射線技術課の紹介

健康管理センター部長 技師長兼務 山中隆二  
放射線技術課 係長 近藤和彦

当院は明治40年開業で124年という長い歴史を持つ秩父地域の中核病院です。

職員数は約100名で放射線技師は診療部の放射線技術課に位置付けられています。

スタッフは技師6名（男性5名、女性1名）で診療部門と人間ドック部門を賄っており、又、診療部門には事務員1名が配属されています。

設置装置はCT1台、透視装置（DR）3台、乳房撮影装置（CR）1台、一般撮影装置（CR）2台、移動型撮影装置（ポータブル）2台、外科用イメージ1台、超音波撮影装置5台です。

技師の平均年齢は42.3歳とやや高めですが、その分安心して仕事を任せることができます。業務は一般撮影を始めCT、透視、そして全ての超音波検査を受け持っています。透視と超音波検査に関しては一次所見を添付しています。各科の医師との連携はとて良好で、技師所見を好意的に受け止めてくれており、我々も張り合いがあります。

本年3月の新病院移転を機に、電子カルテ、オーダーリング、フィルムレス化が実現しました。放射線技術課では所見入力可能な読影モニタを4台導入して頂き運用しています。

院長の花輪峰夫先生は、技師の読影に対し非常に理解があり、最近の技師の一次読影（読影の補助）の通達についてとても喜んでくれました。

医療技術職の仕事内容は、その施設管理者の考えにより異なりますが、当院に於いては、医師との連携を重視し、更に技師同士が切磋琢磨し、患者さんの為に質の高い情報を医師へ伝えることができるよう努力しています。

今後とも技師会活動を通し、勉強会等には積極的に参加して行きたいと思えます。

最後に、今回の病院紹介の機会を与えて頂きまして、小川会長を始め役員の皆様に深謝申し上げます。ありがとうございました。



## 第五地区



### 第五地区




#### 地区勉強会



10月7日(金)に越谷中央市民会館にて開催  
救急CT画像の見方と、Ai対応  
～単純撮影の見方とCTプロトコル構築のヒント～

講師:埼玉県済世会川口総合病院 富田 博信 様

参加者58名とたくさんのご参加ありがとうございました  
Aiから単純撮影そしてCTまで多岐にわたるご講演でした。



勉強会やその他の行事はHP などでご案内します。  
いつもご案内が遅くなりお詫びいたします。



## 第六地区



埼玉県放射線技師会第六地区

発行：埼玉県放射線技師会第六地区会

1. 巻頭言 総務 松田 繁尚
2. 施設紹介（指扇病院）
3. 忘年会のお知らせ

## 自他共栄

2011年10月8日 平成23年度 第3号

皆様初めまして、今期より第六地区で総務を担当している、丸山記念総合病院の松田繁尚と申します。よろしくお願ひします。

今年の夏、平成23年度全日本少年少女武道（柔道）錬成大会が日本武道館で行われました。北は青森県、西は福岡県から3,000人以上の小学生が集まりました。被災した地域の子供達も集まり、皆日頃の練習の成果を出すため一生懸命でした。講道館柔道は「精力善用」、「自他共栄」を基本理念とし、競技における勝利至上主義ではなく、身体と精神の鍛錬及び教育を目的としています。

また実際の教育現場でも平成18年12月に教育基本法が改定されて「知・徳・体の調和のとれた発達を基本に、日本の伝統文化を尊重し、わが国と郷土を愛する心を育てる」ことなどが教育目標として掲げられました。これを受け、平成24年度から全国1万余校の中学校で、武道が体育必修生課として実施されるようになり実際の教育現場で柔道や剣道等の武道が取り入れられていき、社会全体としても武道の精神を重要視しています。

そこで今回は、柔道の精神の一つである「自他共栄」について考えてみようと思います。

皆さんも柔道という競技をご存知のことと思います。相手と組み合い、投げ技等をかけて相手を背中から畳の上に落とす競技です。時には首を絞める技、肘の関節を逆方向に極める技等があります。それだけにケガをすることも多々あります。そこで必要なのが「自他共栄」の心です。「自他共栄」とは、相手を敬い、己の技を磨かせてくれた相手に対し感謝することによって礼の精神を身につけそれにより、相互を信頼し助け合う心を育て、結果として大きく成長し、自分だけではなく、他人も共に栄えていこうという考え方です。

柔道で最初に習うことは、礼の仕方です。次に受け身の練習から始まり投げの練習になります。受け身の出来ない人は投げの練習はできません。礼に

## 丸山記念総合病院 松田 繁尚

は、これから練習をする道場に対する礼、教えてくれる先生に対する礼、これから相手をしてくれる人に対する感謝の礼があります。ここで重要となってくるのが、受け身です。受け身の練習は当然ケガをしないように投げられるということもありますが、まず負ける練習、痛い練習をすることにより、人に投げられることの痛みを覚え練習相手に対する気遣い、感謝の気持ちを備える練習をします。柔道は相手の存在を認め、尊重することから始まる競技です。この精神は、社会において常に必要となってくるものではないかと考えます。

現在医療の世界では、多くの発展を期待されています。その中で、私の関わる放射線業務は、検査精度の高度化、医師の読影業務の補助等で多様になり、それぞれのモダリティの専門性が必要となってきます。

専門性が進むと言うことは、医療が発展をしていく上ではとても重要です。しかし、ここで気をつけなければいけないのが専門性を追求するあまりそのほかの業務に目を向けることがおろそかになるなどの面があります。実際、私も消化管検査を行っている上で検査の準備・検査後の画像整理・読影補助で一般撮影等に手が回らない時があります。このような時、ふと自分に「自他共栄」を思い起こすようにしています。そして分担制だから、専門性だから自分はそのだけをやってあげればよいという自分本位の考え方ではなく他人の行動・気持ちに目を向けるようにしています。自分がそのモダリティに集中して最適な検査を行えるのは、自分の手の回らないところでカバーをしていてくれる人がいる、だからこそ検査を行えるということを自分の心に留めるようにしています。自分だけでなく、相手を想う気持ち・共に発展していくことこそが今求められていることではないかと思ひます。これからも「自他共栄」の精神を胸に医療の発展に貢献していきたいと考えます。

## 施設紹介

## 第7回 三慶会 指扇病院 石川 直哉

指扇病院は、1982年に開院し、二次救急を中心として地域に根付いた医療に取り組んできました。この度、140床の院内にゆとりがなくなったため、2011年10月1日の開業30年を迎える節目の年に耐震構造とし新築移転しました。

三慶会の施設は、最新の医療設備とより快適な療養環境を整え、循環器内科、眼科および回復期リハビリテーション病棟を新設した指扇病院226床の他に、2000年10月に開院した指扇療養病院326床と戸田市笹目にある笹目クリニックがあります。

さて、放射線科は、放射線技師9名、放射線科事務員1名の10名ですべての三慶会施設の業務をおこないます。当院では、新築移転を機に画像診断装置を全てデジタル化し、一般撮影は、埼玉県下初導入のFPDを搭載したSIEMENS社製一体型X線撮影装置Ysioをはじめ、64列MDCT、1.5TMRI、乳房撮影装置、X線透視装置、血管撮影装置、ZIO(血管撮影用)・AZE(CT用)の3Dワークステーションを新規導入しました。これらの機器の選定から図面のレイアウト、放射線科のレイアウトの全てに携わせていただき、非常に貴重な経験をさせていただきました。

私ども放射線科全員が導入された機器の性能を最大限に発揮するために、第六地区の定期講習会をはじめ、様々な勉強会に参加し日々技術向上に励み、微力でも地域医療に貢献することを心掛けております。まだまだ、未熟な放射線科ですが、今後ともよろしくお願ひいたします。

|             |                |                       |
|-------------|----------------|-----------------------|
| 一般撮影        | SIEMENS        | Ysio                  |
| 一般撮影        | KONIKA MINOLTA | Aero DR               |
| CT          | SIEMENS        | SOMATOMDefinitionAS64 |
| ワークステーション   | AZE            | AZE Virtual Place     |
| MRI         | SIEMENS        | Symphony a Tim System |
| X線透視装置      | 東芝             | ZEXIRA/FPD            |
| 乳房撮影装置      | 東芝             | MAMMOREX Pe・ru・ru     |
| 回診用X線装置     | 島津             | Mobile Art Evolution  |
| 血管撮影装置      | 東芝             | InfinixCeleve-i       |
| ワークステーション   | ZIO            | ZIO STATION           |
| 超音波診断装置     | 東芝             | Artida                |
| オーダーリングシステム | 東芝             | HAPPY CLIOS           |
| 放射線情報システム   | 東芝             | RapidEyeAgent         |
| 医用画像保管システム  | 東芝             | RapidEyeCore          |
| 検像システム      | KONIKA MINOLTA | I-PACS QA             |



おしらせ

Lock ON

忘年会のお知らせ

今年も早いもので残り2ヶ月となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、六地区では恒例の忘年会を下記のとおり開催することとなりました。御多忙中大変恐縮ですが、万障お繰り合わせの上御出席下さいますようお願い申し上げます。

日時 11月24日(木) 19:00～21:00  
 場所 La voglia matta ラ・ヴォーリアマッタ 大宮店  
 TEL 048-648-2448  
 さいたま市大宮区錦町630 ルミネ大宮店 ルミネ2 4F  
 会費 男性 4000円  
 女性 3000円

下記幹事まで電話またはメールにてお申込みお願い致します。  
 締め切りは、11月10日とさせていただきます。皆様のご参加お待ちしております。

埼玉県立小児医療センター 放射線技術部 辻村 明日香  
 TEL: 048-758-1811 内線 3260  
 メール: tsujimura.asuka@pref.saitama.lg.jp



Lock ON